

土地利用革新のための知の集約プログラムセミナーシリーズ第3回 「農地の多面的利用を巨大スケールで実現する」

主催：総合地球環境学研究所 土地利用革新のための知の集約プログラム

<https://www.chikyu.ac.jp/rihn/activities/project/program/02/>



地球環境問題の緩和及びそれへの適応の観点から、貴重な資源である土地の多面的な利用が重要となるが、それを実現するのは容易ではない。岩手県の一関遊水地においては約1200ヘクタールの農地について、先進的な水田農業と10年確率の洪水に対する遊水地としての「二つ」の利用を実現している。その背景には、地域の土地所有者や耕作者と関係省庁や農業団体の協働の取り組みとそれを支える制度の存在があった。

1. 日時 2023年10月25日（水）10:00 - 12:00
2. 場所 総合地球環境学研究所 講演室 および オンライン
交通アクセス <https://www.chikyu.ac.jp/rihn/about/access>
3. 参加方法 事前申込制 参加費無料
4. 申込方法 右のQRコード、または下記のURLへアクセスいただき、必要事項をご記入の上、お申込みください。



URL <https://zoom.us/meeting/register/tJrceihpj4jEtU19LFVl6CrGjU4vXNM37SV>

プログラム

- 10:00 開会挨拶 総合地球環境学研究所 プログラムディレクター 莊林 幹太郎
- 10:10 講演 「一関遊水地を可能とした制度的な枠組みについて」（仮）
農林水産省 農村振興局 防災課 災害対策室 災害班担当補佐 倉田 進
一関遊水地についての論文を執筆、また、前職で、国土交通省不動産・建設経済局土地政策課で国土利用計画法の規定による土地取引の規制その他土地利用の調整を担当
- 10:35 講演 「一関遊水地におけるスマート農業を用いた若手農業者の挑戦」
水土里ネットてるい（照井土地改良区）工務課長兼換地課長 遠藤圭二郎
- 11:00 質疑応答
- 11:50 閉会挨拶 総合地球環境学研究所 プログラムディレクター 莊林 幹太郎

お問合せ 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所

土地利用革新のための知の集約プログラム 憂山（かつやま）

連絡先 〒603-8047 京都市北区上賀茂本山 457-4

電話 075-707-2302 E-mail katsuyama@chikyu.ac.jp